

おくりもの

保護者の皆さまへ

日頃より、保健人権部会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、「保健人権部会だより」は、「おくりもの」という新しい名前になりました。

「子どもは天からのおくりもの」、そして「性教育は、大人から子どもたちへの大切なおくりもの」という想いを込めています。子どもたちが自分自身を大切に、健やかに成長できるよう、保護者の皆さまと共に考えていきたいと思ひます。今後とも「おくりもの」をご活用いただけますと幸いです。

先日は、性教育に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました！

2月に実施した今回のアンケートでは、たくさんのご回答をいただき、心より感謝しております。

皆さまから寄せられたご意見やお悩みを大切に受け止め、

今後の活動にしっかり活かしていきたいと考えています。

今回は、特に「家庭で困っていること」として寄せられたお悩みについて、養護教諭の西田先生に「こんなとき、親はどう伝えたらいいの？」をテーマにお話を伺いました。

また、今回の「おくりもの」では、よくあるお悩みをQ&A形式でまとめました。

（「おくりものvol.2」にて西田先生の授業をまとめております）

日々の子育ての中で、「これってどうしたらいいんだろう？」

と迷ったときに、少しでも参考になれば嬉しいです。

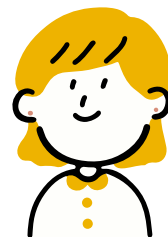
また、保健室に置いてある本の一部をご紹介します。

これからも、お子さんの成長を一緒に見守りながら、共に考え、支え合える場を作っていけたらと思っています。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします！

こんな悩みに
答えていただきました！

ネット
知識、答え方
タイミング
思春期、二次性徴
下ネタ、自慰行為



保健室にはどんな本があるの？



以前、助産師さんおすすめの絵本リストをおくりもの(保健人権部会だより)でご紹介しましたが、保健室には、「からだ」「心」「性」に関する絵本がたくさんあります。子どもたちは、こうした本を通して、自然に興味を持ち、疑問を解決するきっかけを見つけていくことでしょう。

今回は、保健室に新しく入った絵本をご紹介します！おうちで読む本を選ぶときの参考にしてみてください。

色んな本があります！

※書籍名、出版社等はP4をご参照ください。



インターネット



ネットからの歪んだ情報を信じてしまわないか心配な時がある。

間違っている情報をみて「間違っている」と気付くためには、正しい情報を知っていることが必要になります。間違った情報に簡単に触れてしまえる子どもたちの環境だからこそ、信用できる大人が堂々と正しい知識を伝える必要があると思っています。

親の知識・こたえ方



- ・夫婦ともに教える知識がなく、質問されると恥ずかしく感じてはぐらかしてしまう。
- ・子どもと相談しやすい関係を築きたいですが、正しい情報や学びの場を探す方法がわからない。
- ・お便りを読んで、変わりたいけど、どうやったらいいのかな…と思う。

子どもに質問されて恥ずかしくてついついはぐらかしたりごまかしてしまう気持ち、よく分かります。そんな時は、正直に「ちょっと恥ずかしいな」と答えてもいいと思いますし、もし自分のプライベートなことを突っ込んで聞かれた時は、「それはプライベートなことだから答えたくないな」と返事をしてもいいと思います。

うまく答えられない時は、「一緒に調べようよ」と言って性教育の絵本を一緒に読むのはどうでしょうか？親だから、大人だから全てわかっているということではなく、子どもと一緒に学んでいくという姿勢を見せるのも素敵なことだと思います。



男の子の体について質問されると、異性なので経験や知識がなくどう答えたら良いかわからない。赤ちゃんの作り方についても、具体的にどこまで答えるべきか悩む。

子どもに「赤ちゃんはどうやってできるの？」と聞かれた時に求められている答えは、子どもの年齢や興味によって違うと思っています。例えば幼児期の子どもだったら、「お母さんとお父さんが大好きな気持ちがいっぱいあふれて赤ちゃんができたんだよ」で心が満たされるかもしれませんし、小学生であればもっと科学的に事実を答えることでストンと腑に落ちるかもしれません。その子が今どんな内容を知りたがっているのか、話をしながら探るのもいいのかなと思います。



親が正しい知識をもっていない。どう教えて良いのか迷うことがある。
本で、どう伝えるべきか読んでみたがそれが一番良い方法とも思えなかった。

そう思えることがチャンスで、今からどんどん自分の中に正しい知識を増やしていけばいいんだと思います。情報も、日々新しくなっています。私も、いろんなアンテナをはりながら、興味を持ってこれからも学んでいきたいです。

タイミング



家庭で性教育を教えたいが、話すタイミングが分からず今まで話せていない。
これから話を進めたいので、保護者向けの指導が必要だと感じる。
母親だけでなく、父親も含めた両親揃った指導が重要だと思う。

私もそう思います。大人側のアップデートも大切ですし、母親、父親の認識がバラバラだったら、受け取る子どももどう捉えていいかわからなくなります。両親揃ってお話を聞く機会や、二人で性についてお話する機会が増えるといいなと思います。



思春期の子になかなか親からは性教育のタイミングが難しい。

親から子に性の話をするのは、難しい部分もありますよね。そのため、学校ではみんな一斉に同じ話が聞ける性教育の場を意識して作っていきたいと考えています。

思 春 期 ・ 二 次 性 徴



思春期で話を聞いてもらえなくなる前に思い付く必要なことを全て伝えられるか？と、それを当人が忘れずにいてくれるかが気になっています。

必要なことを全て伝えきことは、きっととても難しいです。なので、「子どもが求めてきた時に答えられるようにする」でいいのではないのでしょうか。そして、きっと子どもは忘れることも多いです。（大人でも忘れるのですから）でも、お家の方が必要だと思う時に何度も伝えることで、記憶に残っていくのでは。反抗期の時期も出てくると思いますが、こちら側が子ども扱いをせず、一人の個人として向き合っていけたらと思っています。



男の子の友だちがいてるので、距離感がどうなっているかわからないのが心配です。子どもに二次性徴が来たかどうかまだ分からないが、親として把握しておいた方がいいのか。

親が子どもの全てを把握しておかないといけないのかというと、私はそうではないと思います。自分たちもそうだったように、親には言えないけど親友と思える友だちにはできる話もあるんじゃないでしょうか。ただ、二次性徴が始まった時に焦らないように、先に情報を伝えておくことは大切です。もしも子どもが何か不安なことを打ち明けてくれた時には親身に話を聞けるように、常に心の準備をしておきたいですね。



生理のことをちょこちょこ聞かれたりして、都度私なりに子どもにも分かるように説明しているつもりですが、きちんと伝わっているか不安です。

私にも3人の娘がいますが（小4の双子、小2）、子どもたちに伝える時に気を付けているポイントは、生理を嫌なものと思えないようにさせてあげたいということです。たしかに面倒だったり、失敗して服を汚してしまうこともあります。生理がくるということは赤ちゃんを育てられる体になっているということ。とっても素敵なことです。私も子どもの質問にうまく答えられているかは分かりませんが、上手に生理と付き合っていけるようにと願いながら伝えていけたらと思っています。

下 ネ タ ・ 自 慰 行 為



YouTubeなどで覚えた下ネタを場所をわきまえずに発言して困る。

多くの子が通る道とはいえ、親としては焦りますよね。その場では伝えられなくても、家に帰って少し落ち着いている時に（お風呂の時間など）、お母さんが嫌だったことを真剣に伝えてみるというかと思います。たとえば、「みんないる場所ではやめてほしいな」「嫌な気持ちになる人もいるんだよ」など、言葉にして伝えてください。叱るのではなく、真面目な態度で話すこともとても重要です。



小1男の子で自慰行為をしているような行動をみて見て見ぬふりをすればいいのか、人がいないところでしなさいと伝えた方がいいのか対応に困る。

小1でしたら、思春期以降の性行動とは異なり、性欲からくるものではないと言われています。心地よさや安心感を得たい時、不安な気持ちを落ち着かせる時にする行為だそうです。とはいえ、見ると戸惑ってしまいますよね。自然な行為ですが、「恥ずかしいからやめなさい」と叱ることは、性を恥ずかしいものと認識させてしまいます。

調べてみると、

- いけないことでも恥ずかしいことでもないよ
- 性器はプライベートゾーンだから、人前で触るのはやめよう
- 性器を触ることはとてもプライベートなことだから、一人だけの時間や場所でやろう
- 性器はきれいな手で触ろう
- 強い刺激を与える方法はやめよう

と伝えるとよいそうです。

まずは、プライベートゾーンとは何かを教え、自分の体を大切にすることについて、親子で話ができるといいですね。

（学校では1年生の6月プール前に、各教室でプライベートゾーンの授業をしております。）

西田先生より

さいごに

私は専門家ではないのでえらそうなことを言える立場ではありませんが、子どもに性のお話を伝える際に一番大事だと思っていることは、子どものことを心から愛しく思う気持ちだと思うんです。それがあれば、どんな言葉を選ぼうとも、「自分は親から大切にされているんだ」と思うことができると信じています。

性教育は、人権教育です。子どもたちが、自分のことを大切にできるように、また他の人のことも大切にできるように。そんな想いをもちながら、私たち教師も保護者のみなさんと一緒になって、五常小の子どもたちに向き合っていけたらと思っています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

五常小養護教諭 西田 麻理

保健人権部会より

今年度は学校運営協議会の中に新たに保健人権部会が設立され、私たち部会員も手探りの中で試行錯誤しながら活動を進めてまいりました。先生方、保護者の皆さま、地域の皆さまの温かいご支援のおかげで、無事に今年度の活動を終えることができたことに心より感謝申し上げます。

来年度は、さらに充実した活動を目指し、次のような取り組みをめざしています。

- ・今後の性教育について話し合いの場をつくる
- ・アンケートによる聞き取り
- ・枚方市教育委員会とのコラボ講演会の開催
- ・保健人権部会主催講演会の実施
- ・保健人権部会による性教育授業の参観、保護者向けおたよりの発出

今後も、子どもたちの健やかな成長のために努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会 保健人権部会一同

ご意見・ご感想をお寄せください

「おくりもの VOL.3」をお読みいただいた感想や、性教育に関するご意見、ご家庭でのお悩み、今後「おくりもの」で取り上げてほしいテーマなどがありましたら、右記QRコードよりぜひお聞かせください。

皆さまの声を今後の参考にさせていただきます。

※個別の返信はできかねますので、ご了承ください。

※いただいたご意見は、『おくりもの』誌上でご紹介させていただくことがあります。



Scan Me!

保健室新刊リスト

[記載例]
書籍名 / 著者名等 / 出版社名

- ①セイシル 知ろう、話そう、性のモヤモヤ/ セイシル制作チーム 著/ KADOKAWA
- ②子供を守る言葉『同意』って何？YES、NOは自分が決める！CONSENT (FOR KIDS)
/ レイチェル・ブライアン 作/ 集英社
- ③マンガでわかる！小学生のための「やりたいこと」のを見つけ方/ 茂木健一郎、ぼほこ/ 主婦と生活社
- ④みんなえがおになれますように ちがうってすてきなこと/ 作 うい 絵 早川世詩男/ Gakken
- ⑤学習まんが ドラえもん からだシリーズ VOL7 からだ なんでも 相談室/ 監修・指導 順天堂大学教授 医学博士 坂井建雄/ 小学館
- ⑥どうなっているの？からだのたんけん ドラえもんの不思議はじめて挑戦(ドラえもんのプレ学習シリーズ)
/ 原著 藤子・F・不二雄、監修 白数哲久 /小学館
- ⑦からだのしくみを学べる！ はたらく細胞 人体のふしぎ図鑑/ 講談社、シリウス編集部、はたらく細胞製作委員会
/ 講談社
- ⑧めくって学べる!はたらく細胞 からだのしくみ/ 講談社、シリウス編集部、はたらく細胞製作委員会/ 講談社
- ⑨いろいろ いろんな からだのほん/ メアリ・ホフマン 文、ロス・アスクス 絵、すぎもと えみ 訳
/ 少年写真出版社
- ⑩みんなみんなすてきなからだ/ タイラー・フェーダー 作、すぎもと えみ 訳/ 汐文社
- ⑪図解でわかる 14歳からのLG BTQ+/ 社会応援ネットワーク 著/ 太田出版
- ⑫こども ジェンダー/ ワニブックス
- ⑬おまもりえほん こどもぼうはんルールブック/ 国崎信江 監修、村田エリー イラスト/ 日本図書センター